

## 海ごみから流域環境を考えるプロジェクト

〒702-8011  
岡山県岡山市南区郡12-2  
電話:086-267-2478  
E-mail:gpokayama2011@gmail.com  
https://green-partner.jimdo.com/



LOVE BLUE助成

2年目

実践



底曳網船で回収した魚どごみを船上で分別

シンポジウム参加者 220人

海底探検隊参加者 92人

今年度計画の達成度 75%

活動の全体目標に対する達成度 60%

### 苦労した点と工夫した点



#### ■ 苦労した点

海底にごみが存在するのを実感していただくだけでなく、参加者のその後の行動様式の変化につながるよう全体の構成を考えたこと。

#### ■ 工夫した点

引き揚げられたごみを見てもらったあと、なぜ海底にごみがあるのかをワークショップで考えていただくなど、進行上の工夫をした。

#### 課題

海底に多量のごみが堆積した状況にあることは、ほとんど知られていないため、ポイ捨てなどで次のごみの発生を生んでおり、ごみ問題の解決に課題を抱えている。

#### 目標

県民の意識と行動が変わり、生活環境でのごみの不法投棄などが減少する。これによって、河川・海底へのごみの流入が減少し、海底ごみの堆積量が減少に転じる。

#### 活動内容と成果

- 広く県民の環境保全意識を醸成するため、里海の保全をテーマに学識経験者を交えたシンポジウムを開催。目標を大幅に上回る参加者があった。
- 海ごみの発生抑制を目的として、瀬戸内海の小豆島周辺において底曳網船

による「海底ごみ回収体験学習」を行ったうえで「ワークショップ」などの啓発活動を実施した。海底ごみが日常生活につながる問題であるとの認識を共有できた。● 県内の一級河川におけるごみの状況について、各種団体と連携して情報を収集するとともに、河川清掃を実施しプラスチックゴミなど51キロを回収した。



マイクロプラスチックに関する講演

#### 今後の展望

地方自治体などが行う各種施策にも協力しつつ、特にマイクロプラスチック問題への認識をより一層深めてもらうよう、住民への啓発に力を入れていきたい。